整理番号：2026129

【研究概要】

視神経脊髄炎スペクトラム障害（NMOSD）は神経障害の再発と寛解を特徴とする中枢神経の自己免疫性炎症性疾患である。再発予防治療としての生物学的製剤の登場により多くの患者で再発を完全に抑制することが可能となった一方、副作用リスクに対する身体的・心理的負荷、通院負担、高額な医療費などの諸問題があり、治療方針の最適化には患者視点を含めて総体的な判断が必要である。本研究では、NMOSD 患者の患者報告アウトカム　について、生活の質（QOL）に関する質問票を用いて解析する。